ゲノム編集食品のスマート・リスクコミュニケーション

The Smart Risk Communication Concerning Genetically Engineered Foods

○山崎 毅*，佐々義子**，山口治子***
Takeshi YAMASAKI, Yoshiko SASSA, Haruko YAMAGUCHI

Abstract. In 2018, We developed the Smart Risk Communication (SRC) which is based on the sympathy with consumers' anxiety, and reported its effect targeting consumers excessive health concern on food additive. In this study, we aimed to verify the effect of SRC method targeting the risk perception bias on genetically engineered foods (GEF). We performed the internet questionnaire survey to 100 female consumers who were sensitive to possible health risk of GEF. Although there was certain limitation due to internet communication, the health concerns of GEF were corrected up to approximately 66% of respondents by SRC.

Key Words: smart risk communication, confirmation bias, food safety, genetically engineered foods

１．序論および方法

一昨年、我々はインターネット調査により食品添加物の健康リスクに過敏な 30 代・40 代の女性を抽出し、確証バイアスをターゲットとして開発したスマート・リスクコミュニケーション(SRC)の効果検証を実施し、79%の回答者でリスク認知バイアスの補正が認められた。

本研究では、楽天インサイト㈱の日本人モニターを利用したインターネット調査により、「ゲノム編集食品は安全かどうかよくわからないので、できれば食べたくない」と回答のあった女性 100 名をランダムに抽出し（30 歳代 47 名／40 歳代 53 名）、不安要因に共感した設問を投げかけたうえで、学術的理解を与える科学的根拠や関連情報をわかりやすく提供する SRC 手法の効果を検証した。

２．結果の概略

最初に「ゲノム編集食品はできれば食べたくない」という認識にいたった不安要因と予想される９項目の設問を投げ、不安に共感した回答者数を集計した（カッコ内が人数）：①遺伝子を切ると想定外の毒性発現がありうる(65)、②遺伝子を切った人工の食品より天然の食品が安全(63)、③ゲノム編集食品は遺伝子組換え作物（GM）と同等のリスクがある(26)、④環境への影響があると聞いた(25)、⑤中国でのゲノム編集ベビーなど倫理的によくない(27)、⑥GM と異なり国による安全性審査がないから(19)、⑦狙った遺伝子以外が切れるオフターゲットがある(11)、⑧信頼できる人（家族・友人など）から教わったから(18)、⑨マスコミや書籍で危険と知った(15)。

次に、９項目の不安要因に対する有識者の学術的見解を提示し理解度を確認したところ、各項目について 18%～46%が理解したと回答した。その上で最終的に**「ゲノム編集食品も安心して食べられそうだ」との回答が 66 人から得られた。**また、(1)9 項目の不安要因を確認する設問、(2)各不安要因に応じた学術的理解度を問う設問、(3)各不安要因への安心度を問う設問について、クロス集計分析（フィッシャー正確確率検定／カイ二乗検定、連関係数）と主成分分析を実施し、各設問の関連性の強弱を統計学的に解析することで、より理解度や安心度につながった設問の組み合わせを考察した。

以上の結果より**「不安要因に共感」⇒「不安要因に関わる科学的根拠や関連情報をわかりやすく説明」という SRC により、回答者自らの気づきを与え「食の安心」につながるものと考えた。**

* 特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会（NPO Science of Food Safety and Security, Japan）, ** 特定非営利活動法人くらしとバイオプラザ２１（Life & Bio Plaza 21）, *** 愛知大学（Aichi University）